



大阪大学ナノテクノロジー設備供用拠点 微細構造解析プラットフォーム 平成 26 年度 第1回地域セミナー

<主催> 大阪大学超高圧電子顕微鏡センター <後援> 超高圧電子顕微鏡共同利用研究会議

超高圧電子顕微鏡トモグラフィーを使った3次元像の解析 ~ 撮影から応用例・最新の解析ソフトまで~

超高圧電子顕微鏡トモグラフィーから得られる3次元画像の解析は、生命科学や医療診断、材料工学、計測工学の先端的な研究において重要な技術となっています。今回、超高圧電子顕微鏡を使ったトモグラフィー観察と生命科学への応用事例、立体画像の解析について解説いたします。特に、3次元画像の輪郭抽出を行う画像解析ソフトウェア「HawkC」について詳しく紹介いたします。3次元画像解析を行おうとしている企業・大学研究者の皆様にとって、新たな解析手法となることを期待しています。大阪大学超高圧電子顕微鏡センターでは、文部科学省委託事業ナノテクノロジープラットフォーム・微細構造解析プラットフォームの活動の一環として本セミナーを開催し、先端的な研究を行おうとする企業から大学・公的機関までの幅広い技術者・研究者の皆様の参加を募集しています。

- ■日 時 2014年7月29日(火) 13:30~17:00
- ■場 所 ナレッジキャピタル タワーC 9F 大阪大学 地域共創ラボうめきた 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-60 (グランフロント大阪) http://kc-i.jp
- ■参加費 無料
- ■プログラム
 - 13:30 「超高圧電子顕微鏡トモグラフィーの原理と自動撮影機能について」 大阪大学超高圧電子顕微鏡センター 西竜治
 - 14:00 「繊毛病の病態メカニズムの解明に向けて」 京都府立医科大学 茂田昌樹(招待)
 - 14:30 (休憩)
 - 一立体像可視化ソフトウェア HawkC の紹介一
 - 14:50 「ソフトウェアの概要と活用事例の紹介」 大阪大学 御堂義博・(株)ダイナコム 三浦順一郎
 - 15:30 「トモグラフィー画像からの輪郭抽出」 大阪工業大学 鎌倉快之
 - 16:00 「3Dプリンタとのデータ連携」 大阪工業大学 井上雄紀
 - 16:30 質疑

■申込方法

電子メールにて、件名を「地域セミナー参加申込」として、info-nanoplat@uhvem.osaka-u.ac.jp まで次の情報をお送り下さい。 ①氏名(ふりがな)、 ②勤務先・所属(または大学名・学科名)、③住所・メールアドレス・電話番号・FAX番号。

■申込締切 2014年7月22日 ■定員 30名

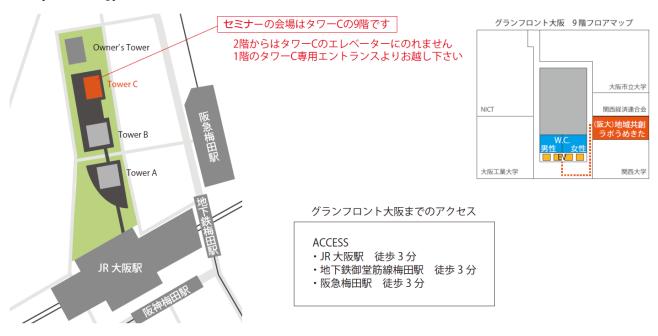
■申込(問い合わせ)先

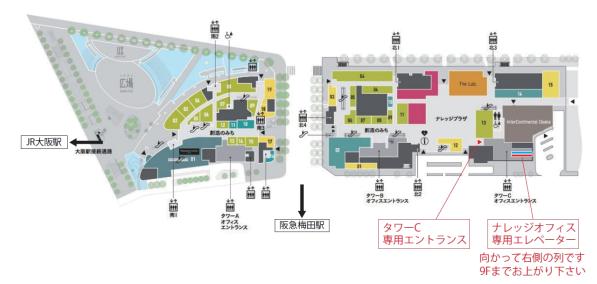
大阪大学超高圧電子顕微鏡センター ナノテクノロジープラットフォーム事務局(横山) 〒567-0047 茨木市美穂ヶ丘 7-1 TEL 06-6879-7941, FAX 06-6879-7942

メール info-nanoplat@uhvem. osaka-u. ac. jp ホームページ http://www. uhvem. osaka-u. ac. jp

■会場案内

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーC 9階 地域共創ラボうめきた http://kc-i.jp/access/





※タワーCへの9Fにアクセスできるのは、1F・B1Fからのみです。 2Fからはエレベーターが利用できません。

■HawkC について

大阪大学、大阪工業大学、(株)ダイナコムの共同研究グループ[代表者 大阪大学情報科学研究科御堂義博博士]は、『科学技術振興機構 研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)』において 3次元画像の自動・高速処理を目指す立体像可視化ソフトウェア HawkC の開発を行うとともに、当該 開発ソフトウェアの普及促進と更なる改良を実施しているところです。次のアドレスからソフトウェアをダウンロードできますのでご利用下さい(H27年3月まで無償提供予定)。

http://hawkc.dynacom.co.jp/ (連絡先)E-mail: hawkc@dynacom.co.jp